

地域の人から学ぼう ～土曜参観・体験学習会～

1 目的と経緯

谷村第二小学校では、長きにわたり授業参観後に体験教室を行ってきた。平成10年（1998年）に「日曜参観・地域の人から学ぼう集会」として始まり、平成17年（2005年）から「土曜参観・体験学習会」という形になり、今に至っている。この会が児童・保護者はもちろん地域の方々も楽しみしている会であり、地域と学校、地域と児童・保護者がつながる貴重な機会であることをふまえ、コロナ禍でも十分な感染対策を講じた上で開催し続けてきた。本校にとっては欠かすことのできない本当に大切な会である。

☆目的：地域の人から学んだ活動や体験を元に、よりよく生きようとする事ができる。
親子で体験活動をする事により、ふれあいを深める。

2 内容

- ・いくつかの講座に分かれて親子で体験活動を行う。
(ウッドクラフト しめ縄づくり 陶芸 絵手紙 手芸)
- ・講師は地域の方をお願いしている。陶芸は地域在住の都留文大の先生である。
- ・事前に各家庭に希望を取るとともに、講師に最大人数をうかがい、参加する講座を調整する。
- ・毎年行っているため、できるだけ違う講座へ参加するように児童・保護者へ呼びかけている。



しめ縄



ウッドクラフト



絵手紙



手芸



陶芸

3 成果と課題

○地域の方と児童・保護者がものづくりを通してつながる素晴らしい機会である。ものづくりをすることで自然とコミュニケーションが生まれ、学校・児童（保護者）・地域が互いを理解し合え、連携をより深めることができている。

△講師が高齢化しており、今後も継続していくには、その講座の後継者を確保する必要がある。また新しい講座を開設できるよう新たな人材の発掘も不可欠である。